

元んしんぶんり



きんもくせい

今	細胞質内封入体細胞(尿沈渣)———(1)	おしらせ(患者さま用報告書について)——(4)
回	検査情報(マイコプラズマ肺炎について)——(2)	声———(4)
の	検査Q & A(百日咳菌抗体検査)———(2)	メモ(施設内勉強会・精度管理委員会より)——(4)
紙	センター紹介(回転式マイクローム)——(3)	編集後記———(4)
面	ひろば(携帯電話の豆知識・迷惑メール対策-)——(3)	中綴じ(-病態へのアプローチ-)

細胞質内封入体細胞(尿沈渣)

Cytoplasmic inclusion

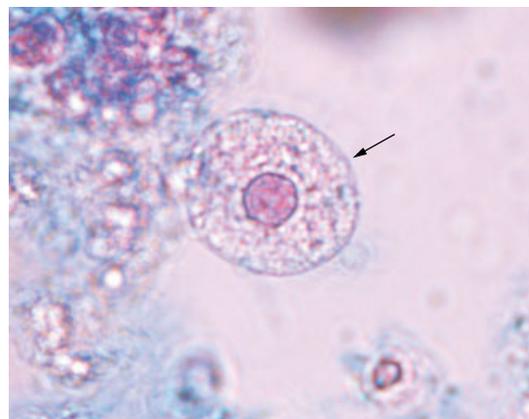
細胞質内封入体細胞は、麻疹ウイルス・風疹ウイルス・流行性耳下腺炎ウイルス・インフルエンザウイルスなどに罹患した(小児)尿から高率に認められることから、RNAウイルス感染との関連性が示唆されています。成人でも膀胱炎・腎盂腎炎・膀胱癌・尿路変更術後・腎薬物中毒などの患者尿からもしばしば認められることから本細胞は、ウイルス疾患に必ずしも特異的ではなく、非特異的な細胞変性ではないかと考えられています。また、封入体細胞の細胞由来は、一般に変性や崩壊が著しいためその細胞像から由来を明確にすることは困難で多くは分類不能細胞と思われます。

細胞は多様な形態を示し、大きさ15～100 μm、形は円形・類円形・不定形・多角形で、細胞質内表面構造も均質状・顆粒状などで、細胞質内には円形・類円形・ドーナツ形・馬蹄形などの封入体が認められます。無染色における封入体は、均質で光沢を有して見られます。ステルンハイマー染色における封入体の染色性は、細胞質と同系色で濃く染め出されることが多いようです。

細胞質内封入体細胞は、上記に示した疾患に必ずしも特異的ではないものの、その疾患を裏付けるための所見として意味をなすものと思われます。



細胞質内封入体細胞(×400) 無染色
：封入体は均質状で光沢を有して見られる。
背景には多数の赤血球、白血球と細菌を認めた。



細胞質内封入体細胞(×400) ステルン・ハイマー染色
：細胞質と同系色で濃く染まった封入体を1個認める。



検査情報

マイコプラズマ肺炎について

マイコプラズマ肺炎は、4年周期（オリンピックイヤー）に流行すると言われていたのですが、最近では4年周期という流行は崩れ、毎年季節に関係なく発生しています。発症の年齢層も幼年児～若年成人での発症例が多いと言われていたのですが、発生周期の崩れと同様にあらゆる年齢層に感染例が見られ、病態も多彩になってきているようです。また近年においては、マイコプラズマ肺炎の大きな流行は見られずに小流行が反復する傾向にあるようです。

症状：熱や咳などいわゆる風邪の症状に似ています。熱は比較的長く続き、咳も激しく続くのが特徴で、時には赤いブツブツした発疹がみられる場合もあります。マイコプラズマ感染症は健康な人ならば自然に治癒していく傾向があり、治療をしなくても完治することがありますが、乳幼児やお年寄りなど抵抗力の弱い人では症状が長引き、肺炎や髄膜炎などを起こして重篤になることもまれではありません。

検査法：PA法（HDP法）とCF法等があります。検出感度・抗体価の上昇とともにCF法よりPA法の方が早くとらえることが出来るためPA法が勧められます。

	測定原理	感度	特異性	その他の特徴
HDP法	高比重粒子凝集法	急性期血清にて 97%が抗体陽性	・IgGとIgMを検出 ・他の方法に比べIgMの検出感度が高い	・短時間での判定が可能 ・初期感染を捉えやすい
CF法	補体結合反応	急性期血清にて 78%が抗体陽性	・IgGとIgMを検出	

検査結果の見方：抗マイコプラズマ抗体は感染早期より産生され2～8週でピークに達するので、ペア血清にて4倍以上の抗体価上昇を有意差とし感染の有無を判定します。しかし、発症より受診までに日数を要している例や、再感染例の場合には、既に抗体価が320倍～640倍（PA法の場合）の高力価に上昇している可能性も考えられます。また、感染後数日で抗体価が急激に上昇する症例等もありますので、単一血清での判断基準としてCF法で64倍以上、PA法では320倍以上の抗体価があれば有意の上昇と見なす事が出来ます。

単一血清において有意の上昇と判断される場合でも、マイコプラズマ肺炎が強く疑われる症状や所見があれば診断は可能ですが、症状等明確でない場合は間隔をおいて再度検査をし、ペア血清として抗体の上昇を確認するのが望ましいと思われます。

検査Q & A



Q：百日咳菌抗体検査を依頼すると東浜株と山口株の2つの株に対する抗体が報告されますがどのように違うのでしょうか？

A：百日咳菌抗体検査は細菌凝集法により検査を行っております。

結果報告書に記載された東浜株とはワクチン株（旧株）、山口株とは比較的最近の流行株（新株）の抗体価（凝集素価）を報告しています。しかし、東浜株と山口株の両株には交差反応性が存在するため、両抗体ともに陽性となることがありますので、そのような場合は臨床症状や他の所見と併せてご判断下さい。尚、現行のワクチンは凝集抗体産生能が低いいため、凝集素価をみる細菌凝集法の検査はワクチンの効果判定には使えません。ワクチン接種により感染防御抗体ができたか確認するにはEIA法による抗百日咳毒素抗体（PT）、抗繊維状赤血球凝集素抗体（FHA）の測定をお勧めします。

化学検査 瀧口 伯臣



センターご紹介

回転式マイクロトーム (ライカRM2135)

病理検査において顕微鏡下で組織を観察する場合、厚い組織片を薄く切り、透過光線を充分通す必要があります。組織片に固定・脱水・包埋の操作を加えて一定の硬さを与えた後に組織片を薄く切ります。常に正確で、連続的に組織片を薄く切るためにつられた器械をマイクロトームといい、マイクロトームを使って組織片を薄く切る操作を薄切といいます。更にマイクロトームの構造により、滑走式と回転式に区別されます。滑走式のマイクロトームは薄切する組織片のブロックを固定し、マイクロトーム刀の滑走路を動かして薄切します。回転式のマイクロトームはマイクロトーム刀を固定し、器械の側面にあるハンドルを手で回転すると、1回転毎に目盛りに表示された厚さ(μm)ずつ水平移動軸が前進します。ブロックは水平移動の先端に取り付けられ、上下動しながら刃に接近し、ブロックが刃に触れて切れます。

滑走式マイクロトームは非常に薄い切片を正確に切るのに適しており、回転式マイクロトームは厚さが一定した連続切片作製に適しています。冬場は静電気、夏場は湿気と戦いながらきれいな標本作りに日々励んでおります。



ひろば

携帯電話の豆知識【迷惑メール：その1】



総務省では、受信者の同意を得ずに一方的に送信される広告・宣伝目的の電子メール(いわゆる迷惑メール)について、「特定電子メールの送信の適正化等に関する法律」の施行や電気通信事業者による自主規制の促進等の総合的な迷惑メール対策に取り組んでいます。法律では、特定電子メールである旨の表示義務、拒否者に対する送信の禁止、架空電子メールアドレスによる送信の禁止などがあり、違反すると罰則が適用されます。



しかし、法律の施行や自主規制をあざ笑うように、最近ますます増加しているのが現状です。そこで、今回は迷惑メール対策についてお話しします。

身に覚えのないメールのリンクや添付ファイルをむやみに開かない

「配信停止」、「配信拒否」などのメールの宛先に返信しない

メールアドレスを英字、数字、記号を取り混ぜたものに変更する

個人で出来る対策は限られています。「無視」して「ゴミ箱」直行が一番手軽な対策ですが、今のところ根本的な解決策はなく、迷惑メールが無くなることはありません。

迷惑メールと言っても「勧誘・セールス広告」、「チェーンメール」、「悪質メール」の3つに大まかに分けることができます。

それぞれの特徴と対策については、次回説明することとしましょう。



電算課長 古川 資啓

お知らせ

「患者さま用検査成績報告書」のご利用について

患者さま用検査成績報告書をご利用いただいていますか。
総合報告書と併せて患者さま専用の報告書が発行出来ます。
人体の絵から検査項目（生化学・末梢血）の説明を分かりやすく解説しています。

詳しくは営業担当者までご連絡ください。



声



当院は父の代より検査は医師会検査センター一筋でお世話になっております。
緊急検査、血液ガス分析などで雑働限まで百道浜から来ていただくのは気が引けておりましたがいつも嫌な顔一つせずに来ていただきまた、結果のファックス送信などではわがままをすぐに聞いてくださりありがとうございます。

先日は私の「溶血が多いような気がする」という一言に対して、早速当院職員に採血時の注意事項に関して（溶血などのアーチファクト予防について）詳しい資料を作成していただきました。集配の方、営業の方、検査技師の方々のチームワークと連携の良さを感じており、おもわず当院の検査室のような感覚でわがままを言うことが増えているように思います。

検査センターは競争が激しく、新規開業の先生方を始め会員の先生方の医師会検査センター利用率が問題になっているようではございますが、民間の検査センターに無い医師会立の「おらが検査センター」としての長所を十分に生かして「当院の検査部」としてさらに充実して下さることを祈念いたしております。

古寺内科医院 院長 古寺 重喜

メモ

施設内勉強会 臨床検査技師・営業担当者向（参加要予約）

「症例検討」	11月30日(木)	16:00	於)カンファレンス室
「動脈硬化関連疾患について」	12月19日(火)	14:00	於)カンファレンス室
「症例検討」	12月21日(木)	16:00	於)カンファレンス室

精度管理委員会より

本年も9月から10月にかけて精度管理調査が行われました。（参加は自由）当センターでは日医、県医、日臨技（病理、細胞診）などが主催する精度管理に参加し、良好な成績を収めています。

平成18年度日臨技臨床検査精度管理調査	6月6日
第35回福岡県医師会精度管理調査	9月11日
第40回日本医師会精度管理調査	10月16日

精度管理委員会 椎葉 満

編集後記 山々は色づくようになり、のんびりと「紅葉狩り」などどうでしょう。

この「紅葉狩り」の言葉は古く1200年以上前の奈良時代には存在していたそうです。

紅葉をながめることを「紅葉狩り」とは、何か不思議な感じがしますよね。

表紙の金木犀について・・・金木犀は花の色が黄色なのでこう呼ばれていますが、白色の花は銀木犀と呼ばれ、共に中国から渡来したモクセイ科の樹木です。銀木犀は17世紀後半、金木犀の方は明治に入ってから日本にもたらされたといわれています。花言葉は「謙虚」です。これは、金木犀が春の沈丁花と並ぶほどうっとりさせるとさせる香りで人を誘い込むにもかかわらず、花は意外と地味なことだからだといわれています。もし、庭にある金木犀が例年はよく花が咲いて、よく香りがしていたのに、花が咲かなくなったり香りがしなくなったという場合は、よく水をかけてあげてください。金木犀は、葉の汚れを嫌うことがあるので、汚れを取ってあげれば、また幸せそうによい香りを振りまいてくれるでしょう。

原産地：中国 花言葉：謙虚 開花時期：9月～10月 最盛期：10月

花色：橙黄色（橙色） 花持ち：3～4日程度

編集委員 喜久正和 大塚英樹 諫山 修 椎葉 満 井原慎治 奥野隆子 右田道男

〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号

福岡市医師会臨床検査センター TEL(092-852-1506) FAX(092-852-1510)

http://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html E-mail : fma@city.fukuoka.med.or.jp